

経営比較分析表（平成28年度決算）

兵庫県地方独立行政法人明石市立市民病院 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	対象	透I訓	救 臨 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	23,132	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

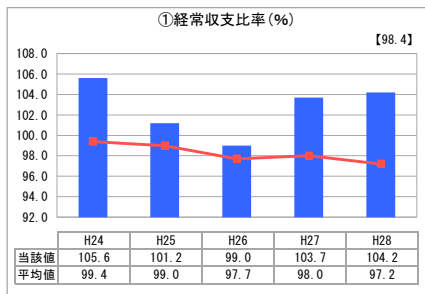
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 ガ…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
357	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	357
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
301	-	301

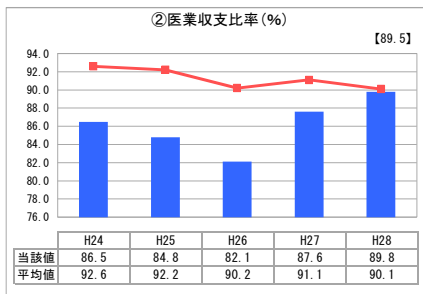
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

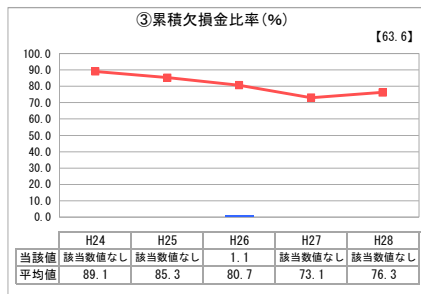
1. 経営の健全性・効率性



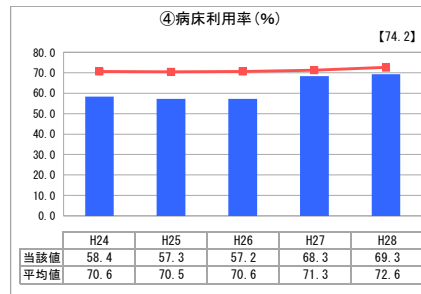
「経常損益」



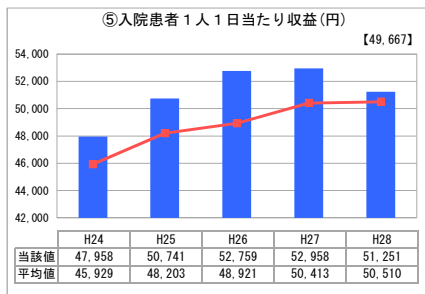
「医業損益」



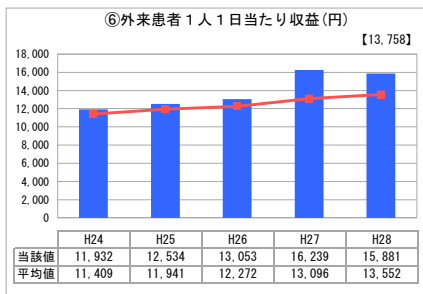
「累積欠損」



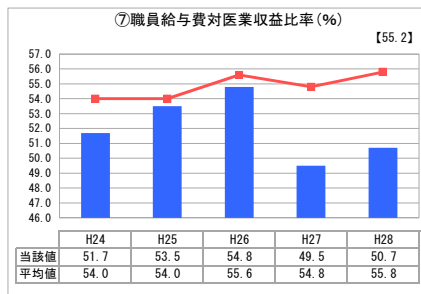
「施設の効率性」



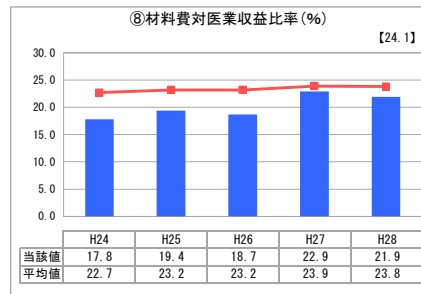
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

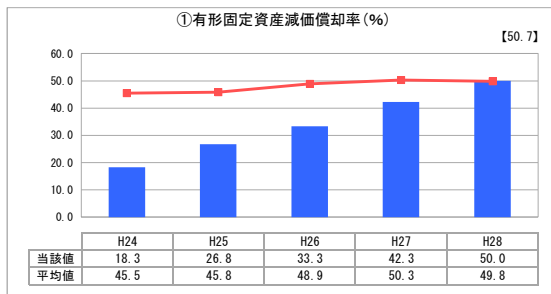


「費用の効率性①」

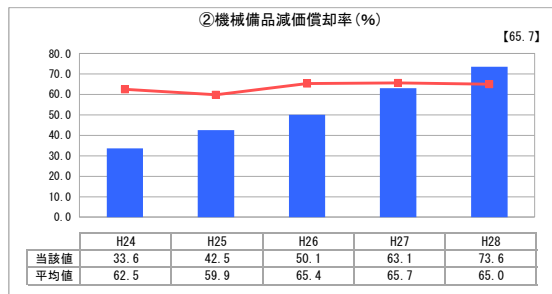


「費用の効率性②」

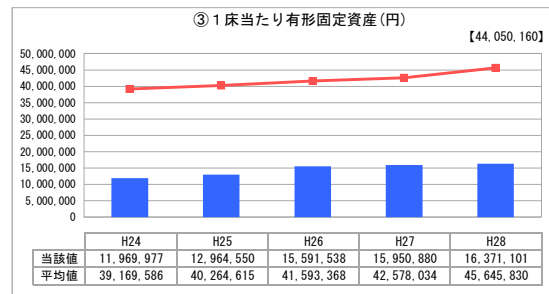
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

地域の中核病院として、地域の医療機関及び市と連携しながら、地域住民に高度な総合的医療と救急医療や小児医療などの政策医療を安定的かつ継続的に提供するとともに、医療の質のさらなる向上に努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

地方独立行政法人化したことにより、決裁に本庁が関わることなく病院内のみで済ませることができ、地域包括ケア病棟の開設などの取組に係る意思決定をスピーディーに行うようになった。その他、救急患者受け入れのさらなる推進等による集患および診療報酬の適正算定等による診療単価の向上によって収益増加を図る一方で、費用削減により経営の健全性の維持・向上に努めている。

採用面では法人独自の採用が可能となり、購買・契約については他病院での実務経験を活かし、ベンチマークを用いて粘り強い交渉を行ったほか、ローコストオペレーションにも取り組み、委託費や材料費の削減、契約内容の充実を図った。また、医事部門に関しても経験者の採用を行い、業務の改善、適正化に取り組んでいる。

2. 老朽化の状況について

平成23年10月の地方独立行政法人化以降、過剰な設備投資を抑制していた時期もあり、医療機器などの更新がやや遅れている側面がある。建物も最も古い部分では平成元年の使用開始から約30年が経過するなど、法定耐用年数に近づいており、資産の老朽化が進んでいる状況である。近年、財務体質が改善されつつあるので、必要性や採算性を検討のもと、計画的な設備投資計画を策定する必要がある。

全体総括

平成23年10月の地方独立行政法人化以降、診療体制の強化および事務部門の構造改革に取り組み、安定した経営基盤の確立に積極的に取り組んでいる。地方独立行政法人である当院にとって「新公立病院改革プラン」にあたる「第2期中期計画」に基づき、「救急医療の強化」「地域から求められる新たな診療体制の確立」「地域医療介護連携体制の強化」そして「病院管理体制の改革」を重点目標として位置づけ、増患による増収ならびにコスト削減を図るなど、経営改善に取り組んでいる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。